

令和3年度与論町海洋教育

与論高等学校2年生 総合的な探究の時間「ゆんぬ」



1人1人、昨年を振り返ったり、話を聞いて新たに考えたりしたことを書きだす



～自分の問いを見つけるJourney①～

- ・ 昨年度の振り返り「探究とは？」
- ・ 印象にのこっていることは？
- ・ 今年は、どんな活動にしたい？
- ・ 与論高校生にとってこの活動は、なぜ大事？

4月23日、与論高等学校での海洋教育授業を見学させて頂きました。今年度3回目の総合的な探究の時間「ゆんぬ」です。

授業の始めは、昨年度実施された東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター田口先生の「探究とは？」の授業内容を振り返りました。また、昨年の活動を思い出しながら「嬉しかったこと、学んだこと、後悔していること」を各自書き出しました。「自分から疑問に思っただけで考えることがなかったので後悔しています。」「途中で訳が分からなくなった。」「みんなと与論の未来について考えることができて良かった。」などのコメントが出ていました。

振り返り後には、「今年はどんな活動をしたか」を考えました。生徒からは「フィールド

ワークを充実させたい。」「昨年考えた解決策をどうしたら与論全体に広げられるかを考えていきたい。」「自分の意見、他者の意見を取り入れる。」などが出ていました。

また、昨年度の2年生（先輩）が探究活動でテーマにした題材を見直し、先輩がどんなことに興味や疑問を持って活動したのかを参考に、今年度進めていく探究活動が自分にとってなぜ大切なのかを考えました。

「社会に出ていくための準備。」「迷った時の、解決策を見つけるため。」「与論を自分たちの手で少しでも守っていくため。」など探究活動に取り組む意義を再認識していたように感じました。今回の授業をきっかけとして、これから始まる探究活動を有意義に進めていってくれるのではと考えています。